



<イタリアに魅せられて〜>

イタリアへの関心は、90年代に次々とオープンしたイタリア料理店に足しげく通ったという安易な動機からだったのですが、『ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ（トスカーナ州モンタルチーノ地区の赤ワイン。イタリアの三大赤ワインの一つ）』を初めていただいた感動は今でも忘れられません。その後、仕事で偶然にもイタリア人との交流があり、その家族思いなところや優しさを知ったことから、イタリアの人、衣食住に触れたいと、仕事を一段落させてイタリア留学を決断しました。それを皮切りに、イタリアはすっかり私の人生の基盤となったのです。

最初に過ごしたトスカーナ州のシエナでは、食習慣の違いに驚かされました。その一例をご紹介します。ホームステイ先のマンマが、毎晩寝る前にタルトやティラミスを作り、それを翌日家族の皆が朝食にして、カフェラッテ、ヨーグルト、フルーツと一緒に食べます。「甘いものを食べて一日を始めるエネルギーを養うのよ」。あっという間に慣れて、すっかり気に入りました。ランチでは建築家のご主人が帰宅し、一緒に食事します。夕食は20時頃から今度は子供たちも学校から帰ってきて皆で食卓を囲みます。今では日本でもテーブルにサラダボウルを置いて取り分けするのは当たり前となりました。セコンドのお肉料理やコントルノ（付け合わせ）のハウレンソウ炒めなどもお鍋やフライパンごとテーブルに運ばれ、各自が回してお皿に食べたい分量だけをよそったり、誰かが取り分けてくれたりします。流れとしてはプリーモを食べ終え、そのお皿を下げてからセコンドが取り分けられ、一皿ずつ食いますが、その習慣がすっかり身に付いた私は、和食でお皿が幾つか並んでいても、気付くと一皿ずつ食べてしまう癖がついてしまいました。

またフィレンツェでは、ペッレグリーノ・アルトゥージ（エミーリヤ＝ロマーニャ州フォルリンポーポリ生まれ、1820～1911）のレシピ本を参考に料理してくれたマンマに出会いました。アルトゥージはイタリアで初めて各地の郷土料理のレシピを集めて出版した人物で、その



アルトゥージ博物館にて

そのレシピ本は100年以上経った今でも世界中で翻訳され、売れ続けているそうです。彼はレシピを再現しただけでなく、各地で表現が異なっていた料理用語の統一化に貢献した人でもあります。郷土料理は、その土地の言葉や文化に根付いたもので、奥深い分野です。私はすっ



サルデーニャでの文化交流

かり魅了され、今ではエノガストロノミーア（地産ワインや郷土料理）の旅を毎年企画し、昨年はサルデーニャ島に生徒さんたちをお連れしました。目的は生徒さんたちと現地の方との文化交流。つまりその土地を知ること、その感動を伝えることです。現地に行くと、毎回印象的なのが、出会う人、皆が口をそろえて「イタリアには良い所がたくさんあるけど、私の町が一番だよ」と郷土愛を声に出して伝えることです。その点は日本人とまるで異なり、イタリア人の故郷を愛する強さを感じさせるものです。日本人の食文化は国際色も豊かで毎日いろいろな食事をいただきます。一方、イタリアでは、今でこそファストフード、中華、スシなどのお店も見られますが、イタリア人は基本的には郷土の素材を毎日口にし、意外と質素な食生活を送っていると感じられます。しかし、テーブルでは家族や友人との会話が飛び交い、一番好きな地元の料理を食べることで満足感たっぷりの様子がかげえ、そこには真の豊かさが感じられます。イタリアを訪れる度に「真の豊かさとは何でしょうか？」とつい自問したくなります。



イタリアでの食卓

こうしてイタリアへの好奇心から発展し、徐々に仕事へと繋がりました。始めはイタリア語教室の運営から出発したのですが、続いて自らの研究テーマ、郷土料理の講座の開催にも取り掛かり、その料理講座に合わせるイタリアワインについても、イタリアから講師を招いてソ

ムリエコースを年1回行うようになりました。やはりイタリア語で直接学べることは、日本の授業スタイルとは異なり、イタリア文化に根付いた内容であることがとても気に入っています。



イタリアワインのソムリエコース

さらに人との結びつきから、『スクオーラ レオナルド・ダ・ヴィンチ（フィレンツェ、ミラノ、ローマ、シエナに拠点を置くイタリア語語学学校）』の留学窓口を請け負うようになりました。この学校のスタッフもまた、日本のことを理解しようという大きな心で私たちの要望に耳を傾け、毎回彼らの忍耐深さを実感致します。最近の留学傾向を見ると、イタリア語だけを習得されたい方以外に、音楽、絵画、ファッション、料理といったイタリアの芸術や文化を身に付けることを目的としてイタリア語を学習される方が増えてきています。イタリアの創造性の素晴らしさは世界一だと実感しています。そのような本場で学べるのは、これ以上ない有意義な機会では

ないでしょうか。日本人の緻密さや計画性とイタリア人の創造性を足して二で割るとバランスが良いとよく笑って話しています。確かにイタリア人は仕事の進め方にもそれは表れていて、プロジェクトを事前から準備するのは得意ではないようですが、それでも最後にぎりぎりになって、結果を出せる、上手く出来てしまうところにはいつも感心させられています。

留学中には、思いも寄らぬことや期待外れなことも起こり得ます。そこはイタリア人の考え方に沿って、「今を大切にすること」が得策のようです。つまり、あまり過去に遡って原因を追究するというよりは、現状において出来る範囲で納得できる方法を探していくという考え方です。留学される生徒さんにいつもお話しするのですが、イタリアという国は門戸が広いと思います。さらにイタリア人は優しさや忍耐を持ち合わせているので、要望を伝えていくことで、実現できる可能性は高いと思われます。しかし、決して向こうからチャンスを与えてくれる訳ではなく、自分から積極的に前に出る必要があります。自分の意思を言葉で発することができれば、彼らはきっと応じてくれるはずですが、もちろん、タイミングなどの要因もあります。実際、生徒さんからも「希望を根気よく伝えたことで、こんなに素晴らしい体験ができました！」とフィードバックをいただいています。

言葉は"魔法"です。自分の想いが相手に伝わる"魔法"。ですが、一歩間違えると思わぬ方向に進んでしまうこともあるので、上手に、有効的に使える"魔法"を生涯かけて、磨きあげていくことが必要と思っております。

松山 恭子 LCI イタリアカルチャースタジオ代表

〈ちょっとだけ検定対策 -日本語に惑わされるな!!->

「……に〜」と訳す動詞を見ると、それが他動詞の動詞でも自動詞と勘違いしてしまい、ついつい前置詞の a を入れてしまいたくなりますね。他動詞では、直接目的語を取るため、前置詞を必要としません。

例として、第47回（2018年秋季）の4級で出題された問題を解いてみましょう。

A Firenze Keiko ha frequentato _____ corso intensivo di italiano.

- a) un b) a un c) in un d) con un
（【訳】フィレンツェでケイコはイタリア語の集中コースに通った）

「……に通う」という意味で使う frequentare は他動詞で前置詞を必要としません。よって、解答は b)ではなく、直接目的語をとる a)となります。「……に」という日本語にひきづられて、正答率は 51.1 パーセントとほぼ半分の人が間違えています。このような問題は頻繁に出題されていることもあり、点数を稼ぎたいところです。frequentare のほか、自動詞と勘違いしてしまいそうな注意すべき動詞は以下の通りです。

- ・ incontrare, vedere（……に会う）, andare a trovare（……に会いに行く）
- ・ salutare（……に挨拶する）

- ・ chiamare（……に電話する）（*telefonare は自動詞なので a を必要とします）
 - ・ pregare（……に頼む）
 - ・ raggiungere（……に着く、到着する）（*同義語の arrivare, pervenire は自動詞なので a を必要とします）
- 応用として第41回（2018年秋季）4級で出題された問題も見てみましょう。

La settimana scorsa ho incontrato per caso _____ Rossi.

- a) a signor b) al signor c) signor d) il signor
（【訳】先週私は偶然ロッシ氏に会いました）

解答は d)ですが、正答率はさらに下がり 43 パーセント。おそらく、incontrato のあとに、副詞句の per caso（偶然）があったため、解答に戸惑ったのかもしれませんが、ho incontrato の目的語は il signor です。また、per caso の代わりに casualmente を入れることもできます。Ho incontrato casualmente il signor Rossi.意味は変わりません。これらのように副詞や副詞句の多くは動詞のすぐあとに置かれることが多いので、どの単語が目的語なのかと、文の構造をしっかりと把握してください。

★HP では、検定対策のコラムを随時、更新していく予定です。

<結果に表れた本気度の差>

私は、2007年の春に、イタリア語検定の3級をいただきました。けれども、実は2006年の秋に東京で、同じ3級を受験して落ちています。東京で受験したのは、東京見物がしたかったからです。友達にも会えると思いましたが、日本国内は、札幌以外には、羽田と成田しか知らないのに、思えば無謀なことでした。東京での受験は、会場に行き着くのが精一杯で、結果は本当に散々なものでした。私は1987年の夏から3年間、ローマに住んでいたことがあります。夫の仕事に、同行して行っただけです。その頃は、NHKの語学講座にもイタリア語はなく、参考書籍も少なく、第一、インターネットもありませんでした。現地にいらした留学生さんに少し教わったぐらいで、あやふやで曖昧な「イタリア語」で、なんとか、生活をしてきたのです。

1990年に帰国してみると、NHKラジオでイタリア語講座が開講していました。それからずっと、ラジオを聞き、テキストも買って、コツコツ勉強してきたのですが、検定を受けてみようかな、と思うまで、15年かかったわけになります。2007年には、気を引き締めて、地元、札幌で、受験しなおし、おかげさまで合格できました。やはり、嬉しかったです。

この度の教訓は、イタリア語の検定といえども試験は試験なのだから、東京見物と抱き合わせに、などという甘い考えを持たず、まじめに受けること。地元以外で受



ヴェネツィアにて

ける時は、会場の下見ぐらいしておき、所要時間など測っておくこと、といった、あたりまえのことでした。

イタリア語の内容でいえば、3級は難しくはないので、うっかりミスをしないこと、冠詞、関係詞、代名詞など、特に、性数の変化のような基礎的なところを、きちんとしておけば充分だと思います。

今は、ローマ暮らしから、もう30年も経ってしまいました。これは今すぐ何かに役に立つ、というものではないですが、若かった頃のローマの思い出のため、「私のイタリア語」を、続けております。

札幌市在住 松浦 祐子

<還暦から2級への道>

私がイタリア語の勉強を始めたのは60才の時。訪れたイタリアの小さな町で英語が通じなかったので、旅行会話くらい出来れば楽しいかなと軽い気持ちで『ベリタリア イタリア語・文化教室』の門をたたきました。勉強し始めて間もなくP先生に“Hai amici italiani? (イタリア人のお友達はいますか?)”と質問され私が“No. (いません)”と答えると、先生は“Hai già un'amica. Sono io! (もう(イタリア人の)お友達はいるわよ。私がそうよ!)”と言いました。それ以降、沢山の先生方やイタリア人の方との出会いがありました。いつもこの言葉を思い出します。皆とてもフレンドリーで、これが私が今までイタリア語を続けてこられた原点かなと思います。



ローマの語学学校のクラスメートと

イタリア語検定とのお付き合いの始まりも軽い気持ちでした。勉強し始めてから2年位の頃、力試しのつもりで4級と5級を同時に受験しました。その時の合格に味

をしめ、毎年検定の時期になると、つつい願書を出してしまい、昨年とうとう2級に合格することが出来ました。夢のようです。

私は以前から色々な外国語に興味があり、NHKのイタリア語講座も視聴していましたが、本格的にイタリア語の勉強を始めてからは毎日ラジオ講座を録音し、自分が納得できるまで繰り返し聴きました。結果としてこれが ascolto 対策になっていたのかと思います。

また、3級と2級を受験の時は『ベリタリア』の検定準備コースでM先生に、知らない単語があっても気にせず問題文の中にヒントを見つけて考えるよう指導を受けました。それまですぐ辞書に頼っていたのですが、それ以降は個々の単語にこだわらず、全体の意味をつかむよう心がけました。これが短時間で沢山の問題を消化しなければいけない準2級、2級の試験にはとても役立ちました。

検定には語学の知識だけでは難しいけれども、背景となるイタリアの地理、生活、文化を知っていると理解できる問題もあります。地名が出てくる度に地図で場所を探したり、塩野七生さんの著書で歴史に親しんだことも役立った気がします。もう年を重ね、新しいことを覚えることがだんだん大変になってきていますが、今後もイタリア旅行をしながら勉強を続け、将来1級にも合格できたらいいなあなどとちょっと欲張りな夢を持っています。

2018年第47回2級合格 1級挑戦中 M.K.さん

検定ニュース

>>1級合格者は全国通訳案内士試験 筆記試験語学科目が免除されます！<<

>>2020年春季、第50回検定が“外務省後援”となりました<<

◇2019年秋季第49回検定志願者数（出席者数/志願者数）

	札幌	仙台	新潟	東京	横浜	金沢	名古屋	京都	大阪	岡山	広島	福岡	宮崎	那覇	ローマ	ミラノ	計
1級	1/2	5/5	0	70/76	10/10	2/2	1/1	11/11	10/11	1/1	0	5/5	0	0	4/4	8/8	128/136
2級	1/1	6/7	0	128/142	31/32	1/1	13/16	19/20	34/41	2/2	2/2	6/6	1/1	0	1/1	9/10	254/285
準2級	2/2	5/5	3/3	125/145	16/18	2/2	8/8	18/21	36/42	3/3	0	11/13	0/1	1/2	3/4	5/6	238/275
3級	6/7	9/11	2/2	218/262	48/55	3/3	20/27	30/33	58/60	3/4	2/2	25/26	2/2	3/3	4/4	12/14	445/515
4級	9/12	15/15	3/4	238/290	35/40	5/5	31/41	47/55	63/70	11/12	3/3	41/47	1/1	4/4	1/1	11/14	518/614
5級	12/14	7/7	4/4	151/187	31/37	5/5	26/32	39/46	46/57	5/8	3/4	25/32	2/2	1/1	1/1	3/4	361/441
合計	31/38	47/50	12/13	930/1102	171/192	18/18	99/125	164/186	247/281	25/30	10/11	113/129	6/7	9/10	14/15	48/56	1944/2266

第49回検定でのアンケート結果です（より詳細はHPに掲載します）

出席者数 1,944名 アンケート数 1,434通 回収率 73.8%

- 1. 実用イタリア語検定を知ったきっかけは何ですか？** 回答者数：1,390名
 当協会HPを見て：495人(35.6%) 大学で知った：220人(15.8%)
 語学学校で知った：153人(11.0%) NHK語学講座テキスト掲載の当協会広告を見て：117人(11.9%)
 家族・知人の勧めで：96人(6.9%) 書店に設置してあるポスターや検定要項を見て：63名(4.5%)
 先生に勧められて：73名(5.3%) 協会からのDMを見て：55名(4.0%)
 カルチャースクールで知った：30名(2.2%) その他：51名(3.7%)
- 2. 最終的に何級まで取得したいと考えていますか？** 回答者数：1,424名
 1級：470名(33.0%) 2級：277名(19.5%) 3級：263名(18.5%)
 準2級：138名(9.7%) 4級：45名(3.2%) 5級：6名(0.4%)
 分からない：225名(15.8%)
- 3. 当協会のHPは頻りにチェックされていますか？** 回答者数：1,418名
 試験の申し込み受付や合格発表の時期のみ：1,019名(71.9%) 月1～2回程度：186名(13.1%)
 見ていない：186名(13.1%) 週1回以上：27名(1.9%)
- 4. HPで充実して欲しいコンテンツはありますか？** 回答者数：1,165名
 検定対策コラム：776名(66.6%) 参考図書：376名(32.3%)
 みんなの受験体験記：199名(17.1%) エッセー集：95名(8.2%) リンク集：46名(3.9%)

●**事務局よりホームページ活用のお願い** www.iken.gr.jp

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。過去の問題もeラーニング・システムで配信しておりますし、コンビニプリントで過去問も配布しています。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。ご利用いただければ幸いです。ご要望や受験・お仕事体験談等、メール（info@iken.gr.jp）でお寄せください。Le AliとHPに掲載させていただいた分には薄謝を差し上げております。

<2020年の試験日程ご案内（予定）>

◆ 第50回 2020年3月1日（日） ◆ 第51回 2020年10月4日（日）

▶伊検公式 LINE スタンプ好評発売中◀

伊検ならぬ伊犬のイタリアン・グレイハウンド、Iken君と、その彼女のAliちゃんの楽しいスタンプでLINEの会話を楽しんでください！日本語もついています。



電子書籍版登場！『使えるイタリア語単語 3700』



実用イタリア語検定準2級まで完全対応のイタリア語単語集。掲載されている3700ワードはジャンル別に分類してあるので覚えやすく、各単語に検定での該当級が明記されているので検定対策に最適。全掲載フレーズ音声収録。無料音声ダウンロード付。Amazon、honto、楽天ブックス、紀伊国屋書店ウェブストアで発売中。
 発行・発売 ベレ出版
 佐藤徳和、北野美絵子ジュリア著